



2015年4月15日

今回の博物館だよりは、4月12日（日）に開催しました子どもアート・イベント鑑賞会「みる・かく・かんじる 洋画のみりよく」の様子についてご紹介致します。

鑑賞会「みる・かく・かんじる 洋画のみりよく」

4月12日（日）午後4時～午後5時30分に子どもアート・イベントとして、鑑賞会「みる・かく・かんじる 洋画のみりよく」が開催されました。このイベントは、小・中学生を対象としたもので、保護者を含めて10名の方が参加。

はじめに参加者みんなで自己紹介をし、博物館内での注意事項を聞いた後、作品を鑑賞。作品鑑賞では、橋本邦助の『姉妹』と高橋由一の『鮭図』の前でそれぞれ作品に対して感じた事を自由に発表。『姉妹』の前では緊張していたのか、大人しくしていた子ども達でしたが『鮭図』の前では積極的に思った事を発表。「テーブルの上に置かれている鮭かもしれない」「鱗がきれい」「切り取られている部分は刺身にして先に食べて、残りを干していると思う」など、先入観のない子どもならではの着眼点で面白い意見が続出していました。

その後、それぞれ自分の描きたい作品の前で模写を開始。色鉛筆を使用し、子ども達はもちろん保護者も真剣に作品を観察し、納得がいくまで集中して描き続けていました。皆さん色の塗り方や濃さなど様々で、どれも個性のあるすばらしい作品に仕上がっていました。

今回のイベントを通じて、絵画により興味を持ってもらい博物館にも気軽に展示会を見に遊びに来てもらえたら嬉しいです。



◎春季特別展◎

「高橋由一から藤島武二まで 日本近代洋画への道」

開催期間：～5月17日（日）まで

※会期中無休

詳しくは <http://www.akashibunpaku.com/exhibition/?id=103>

～現在開催中 展示会案内～

詳しい展示会情報は
当館HPをご覧ください。

<http://www.akashibunpaku.com>
次回の「博物館だより」をお楽しみに。